

# 地域とつながる FFG連携プロジェクト

長崎県



私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、長崎県産品の販路拡大を支援する一般社団法人 離島振興地方創生協会との連携についてご紹介いたします。

## 長崎県発。豊かな「食の列島」を目指して

長崎県は、吉岐や対馬、五島列島など、日本の中でも特に多くの離島があります。これらの島々は、豊かな自然と食の恵みにあふれていますが、人口の減少や産業の衰退といった課題も抱えています。

こうした離島の魅力を守り、地域を元気にするために一般社団法人 離島振興地方創生協会（以下、離創協）が2020年に設立されました。離創協は、「離島振興」と「地方創生」を目指し、日本を豊かな「食列島」として再興することを目標に、現在は長崎県内を中心に活動しています。

十八親和銀行は、離創協と長崎県が連携を開始した当初より、長崎県産品の販路拡大に寄与すべく行員の離創協への派遣等を通じて「食」による地域の活性化に取り組んできました。離創協の掲げる3つの施策「バリューチェーンの構築」、「生産基盤の整備」、「生活基盤の整備」を進めるべく、離創協と連携している長崎県をはじめとした関係自治体や食品事業者とのネットワーク構築、販路拡大支援に向けた企画立案等、幅広い支援を行っています。

離創協では、これまで食品バイヤーの産地招聘や展示商談会への出展支援、全国各地での物産展・フェアの開催支援等、様々な販路拡大施策を行ってきましたが、このたび、離創協の活動としては初めての試みとなる地域事業者主催の商談会が6月12日に開催されました。この商談会では、参加した食

品バイヤーが所定の席に着き、地域事業者が交代制で自社商品をPRする形式が採用され、各事業者は、自社商品を熱心にアピールし、食品バイヤーは興味深く耳を傾けていました。十八親和銀行は、過去の展示商談会の事例やバイヤー陣の情報を共有する等、商談会の運営について企画段階から事業者のサポートを行い、商談会の成功に寄与しました。商談会終了後も、関東圏で予定されている長崎県産品フェアに向けて、前向きな商談が継続しています。



商談会の様子



バイヤー陣への説明の様子

離創協と自治体との取組みは、対馬市、杵岐市、新上五島町、五島市の4自治体からスタートしました。4自治体の販路拡大を支援し続けた結果、離創協が関与した販路企業への出荷額は2020年当初9億円だったものが、2024年には14億円へと増加させることができました。十八親和銀行も離創協と共に離島での活動について周知してきた結果、支援の要望も増え、現在では西海市、島原市、長崎市、松浦市が加わり、計8自治体と「食」による地域の活性化の取組みを進めています。今後とも十八親和銀行では、離創協や自治体と連携していくことで、長崎県内における「食」の振興を目指してまいります。



新上五島町の焼きあご



五島で水揚げされた新鮮なイカ

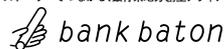


十八親和銀行 地域振興部 松山  
【お問い合わせ】095-828-8150

### FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の  
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ  
営業統括部 地方創生推進グループ  
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254